

＼見える／ ＼役立つ／ ＼笑顔になる／
みんなをつなぐマガジン

2023
第17回
定期中央大会
報告号
労働組合機関誌
vol.138

delicious



第17回

定期中央大会を

4年ぶりに完全集合形式で

開催

定期中央大会とは？

定期中央大会は、労働組合法（第5条、第2項第6号）に基づき毎年少なくとも年に1回は開催されなければなりません。また定期中央大会は労働組合の最高の議決機関となっており、セブン&アイ・フードシステムズ労働組合では10月～9月までの一年間の活動方針や予算を決めています。

第17回定期中央大会（要旨）

●日時：2023年10月13日（金） ●ところ：東天紅上野本店
議長



デニーズ西東京支部 支部長
（デニーズ小平小川町店）
丹羽 めぐみさん



デニーズ小田原支部 支部長
（デニーズ平塚見附店）
田中 友梨さん

大会書記



セブンイレブン2支部 副支部長
（SE新横浜プリンスホテル店）
多田 祐介さん

大会運営委員兼投票管理委員



デニーズ品川支部 副支部長
（デニーズ大井駅前店）
三原 賢司さん



IY2支部 支部長
（社員食堂浦和店）
名越 良枝さん

出席代議員数43名
オブザーバー19名



第16期活動報告・会計報告・会計監査報告

- 第16期活動報告（桜井書記長） ●第16期会計報告（桜井書記長）
- 第16期会計監査報告（水野会計監査）

⇒すべての報告が、満場一致で承認されました。

詳細については、店舗に送付される「第16期活動報告書」、「第16期会計報告、会計監査報告」をご参照ください。

議案事項（提案者）

- 第1号議案 第17期活動方針案（桜井書記長）
⇒満場一致で可決されました。
- 第2号議案 第17期予算案（桜井書記長）
⇒満場一致で可決されました。
- 第3号議案 中央役員の選出（貝瀬副委員長）
⇒投票の結果、全員が信任されました。
- 第4号議案 特別中央執行委員の任命（北山委員長）
⇒満場一致で可決されました。
- 第5号議案 参与の任命（北山委員長）
- 第6号議案 功労者表彰（北山委員長）
⇒満場一致で可決されました。
- 第7号議案 「第27回参議院議員選挙推薦決議」（三久保副委員長）
⇒満場一致で可決されました。

すべての議案が、
信任・可決されました！





委員長挨拶(要旨)



中央執行委員長 北山 淳

皆様のご協力で無事1年を終えることができました。このように皆さまのご協力の上に成り立っていることを忘れずに、向こう1年も成果の出る、やった意味のある活動を進めてまいります。

2020年の新型コロナ感染拡大により、私たちの生活が大きく変わりました。政府からの要請によって休業、営業時間の短縮、飲食をすることの不安によりお客様がお越しいただけない状況となりました。新型コロナ感染症の分類が2類から5類となり、様々な問題を抱えながらもなんとか会社も営業を継続し営業利益予算達成も見えてきたことは嬉しく思います。しかし、労働組合としては雇用の確保と労働条件の改善だけでなく、お客様に喜んでいただき、働く方も気持ちよく働き、そして十分な給与をいただき、会社の業績も向上させる、ということにもう一度挑戦していきたいと思ひます。働く人、お客様、お取引先、会社すべてが幸せになる経営を追求し、労使協議会や団体交渉で会社と確認していきます。

第16期の活動を振り返ると、労働条件交渉では厳しい経営状況の中、2007年以来最高の金額で賃金改定を妥結することができまし



た。しかし物価上昇と一時金の減少を考えると、まだ不十分な状況です。次回の交渉では現在の業績を元に交渉を進めてまいります。

今年の大きな出来事の一つにグループおよびデニーズ、ファミールの創業者である伊藤名誉会長がお亡くなりになりました。伊藤名誉会長の話の主語は常に「お客様」もしくは「従業員」でした。「お客様にご迷惑をおかけしていないか?」「働いている人は楽しく働いているのか?」。こういった考えが7FSの復活、再始動には、非常に重要だと考えます。会社経営においては収益と運営が重要ですが、労働組合は「働く人にとってどうなのか?」ということに拘り協議をしていきたいと思ひます。

最後に、デニーズとファミールが50周年を迎え、これから100年続く会社にするためには、業績を安定または拡大していく必要があります。そのためにはお客様に支持され続けなくてはなりません。お客様に支持されるには、動作だけを教えるだけでなく心を教える必要があります。その心を教えることができるのは「社風」だと思ひています。

もう一度、お客様のために尽くす、一緒に働く仲間のことを思いながら、助け合いながら仕事をする、そんなお店、会社を取り戻したいと強く思ひます。

労働組合も、もう一步踏み込み、直接お客様、働く仲間と接している私たちにしかわからない「気持ち」「思い」を添えて、会社に伝えたいと思ひます。皆さんと社風や雰囲気や議論し、働く仲間にもお客様にも居心地のいい、行きたくなるお店、職場の実現を目指して活動する1年にしたいと思ひます。

ご来賓挨拶(要旨)



株式会社セブン&アイ・フードシステムズ 代表取締役社長 小松 雅美 様

私からは業績について、また2024年度以降の予算や計画について、現在進行中の話を皆様にお伝えしたいと思います。

来年度の予算策定において、賞与水準の回復は業績と連動して当然と思ひています。しかしながら、賞与の回復だけでは不十分で、来年の賃上げに関しても十分検討していきたいと思ひます。また、パートナー社員に関しても最低賃金を上回る時給アップを考えています。

これらの取り組みを実現するためには、売上の増加が不可欠と考えています。客数の増加には、新規のお客様のご来店に加えて既存のお客様のリピート利用が必要です。新規のお客様に関しては、シェフ監修の特別メニュー販売を通じて、すでにお客様が増えているという結果が出ています。ただし、目標にはまだ達しておらず、新たなプロモーションやコラボレーションを必要だと感じています。また、シェフ監修メニューを通じてお客様がデニーズのファンになり、再来店を促進する取り組みを今後も進めていきます。

店舗オペレーションの面では効果的な人員配置とオペレーションの安定を実現するためにも、平日のディナータイムや週末のランチ、ディナータイムなどで人員配置を増加し、運営の安定を進めます。お客様に新しい食事体験を提供し「本当にデニーズはおいしいよね」

「食べに行きたいね」と言われる魅力的な場所として認識してもらうことがデニーズ再生の鍵だと考えます。また、商品見直しとリブランディングを通じて、方向性を明確にしつつ、基本の徹底を進める必要があります。お客様は特別なサービスではなく、当たり前のことを期待しており、QSCAの徹底が重要です。

デニーズ、iy給食、外部、セブン-イレブンなど、様々な部門において多くの成長の機会があります。しかし、この成功には基本の徹底が極めて重要で、この取り組みを通じて皆さんに業界水準を超えたレベルの給与や賞与をお渡しできると思ひますので皆さんに力を貸してもらいたいと思ひます。

近年、人を取り巻く環境が急激に変化しており、この変化に適応しなければ競争に取り残される可能性があります。人や商品、店舗のさまざまな問題も重要ですが、本質にアプローチすることが重要です。現場の改善はもちろん重要ですが、視点を変え、視野を広げ、視座を上げて新しいアイデアを出すことが必要です。皆さんと意見を出し合い、協力して築いていきたいと思ひます。この会社で働けて良かったと思ひる取り組みを共に進めていきたいと考えています。

最後に、議案書に掲げられたスローガン「再始動! 私たちの理想のミライへ…」は素晴らしいものだと思います。労使双方がこのスローガンを元に活動し、素晴らしい企業を築いていきたいと思ひます。引き続き、ご支援をお願いいたします。



UAゼンセン総合サービス部門 事務局長 原田 光康 様

昨年から物価上昇と新型コロナ感染症からの制約の影響から解放され企業活動の再開が進んだ結果、労働者不足が顕著に表れました。労働組合の役割の中で、今年の賃金交渉は人材確保と処遇の改善に焦点を当て、従業員の生活向上と、光熱費などの値上げに対処することを目指しました。労働組合と企業が共通の目標を強く持つ中で、賃金の改善に取り組んできました。労使が生活維持の観点

から賃金の向上を求め、企業もこれに応じた結果を出しています。労働組合は民主的な労働運動を通じて、労働者の声をまとめ、交渉に生かし、労働者の生活向上に貢献する使命を担っています。日常的な組合活動を通じて多くの組合員を包み込み、労働組合の組織力を強化することが重要であり、労働組合の力の源と考えています。社会と経済の変化や動向を考えつつ、労働組合としての基本原則を念頭に置き共に頑張りましょう。



すかいらーく労働組合 中央執行委員長 坂田 浩太 様

人流と客数が戻りつつあり、業績の回復が見られる喜ばしい状況です。しかし、コロナ禍の影響から消費者の考え方が変わりました。食事選びに対するアプローチも、お店を選んでからメニューを選ぶよりも食べたいメニューがあるからそのお店を選ぶ志向に変化しています。その店でしか楽しめない商品の開発が重要になっていると思ひます。また、ご来店の時間帯にも変化があり、早い時間帯での食事需要が増え

ています。この変化に対応するため営業時間の見直しを検討しています。すかいらーく労働組合で行った組合員意識調査では、コロナ禍で人手不足の問題が続き、組合員の評価が低下していることが分かりました。本来外食業界は素晴らしい仕事であり、多くの人にその魅力を伝える必要があります。また、ワークライフバランスの向上と、組合員が安心して働ける環境の構築が求められています。外食業界で働く全ての組合員と協力し、業界の未来を築いていきたいと思ひます。



ロイヤルグループ労働組合 中央執行委員長 北見 忠広 様

記録的な物価上昇や深刻な人員不足が発生する中、ロイヤルグループとして生産性の向上や優秀な人材の確保など、企業価値の向上を行うために大きく賃金を引き上げました。これは今年だけでなく今後も継続し、ステーキホルダー全体に人的資本への投資の重要性を伝えるために取り組んでいくべきだと考えています。

また、定休日についてロイヤルホストと天丼てんやの定休日を増

やすことを発表しました。しかし当社のグループには24時間営業の店舗や事業形態もあり、全ての従業員が働きやすく、多様な働き方が認められる企業に成長するべきだと考えています。デニーズが認知症患者との交流会を開催したことは素晴らしい取り組みで、我々も多様性を尊重し、笑顔で働ける環境を作るために努力すべきだと感じました。外食業界での従業員の地位向上のために今後も協力していきたいと思ひます。



セブン&アイグループ労働組合連合会 会長 渡邊 健志 様

賃上げが新しい資本主義の最重点課題と位置づけられていますが、企業経営における人件費の上昇と価格転嫁の難しさに懸念があります。昨年の労働条件交渉では、物価高への世論の追い風により成果を収めました。今年度の交渉でも、持続的な賃上げのために生産性向上と「人への投資」が重要です。付加価値の適正な配分が持続的な成長に必要です。

人的・労働価値が高まる労働市場で、人材確保と質の向上が必要

です。労働組合は、エンゲージメントの環境を整え、共通の認識のもとで目標に向かって取り組む意向です。

私たちにとって大切なのは、変化に挑戦し、お客様のニーズに合わせた新しいビジネスや価値創造に取り組む精神です。過去の経験に縛られず、深化と探索を通じて新たな道を開拓することが成長の源泉です。2024年度は環境変化に対応する重要な年になるでしょうが、セブン&アイ労連の基本と原点を大切に、持続可能な組織を築くために共に努力しましょう。

今大会をもって、退任された役員の方々の皆さん

今大会をもって、3名の方が退任されました。これまでの活動お疲れ様でした。



前中央執行副委員長 和田 真 さん



前中央会計監査 水野 佐紀 さん



前特別中央執行委員 齊藤 幸一 さん





第17期活動方針



第17期の活動方針詳細については、
店舗へ配布の議案書をご参照ください。
Webからもご覧いただけます！

第17期 活動スローガン

再始動! 私たちの理想のミライへ...

～働く仲間、お客様に選ばれる企業にしよう!～

第17期 重点政策

1

「組合員の生活不安を解消する」

物価上昇、生活実感、世間相場、
業務への貢献度を踏まえた
賃金・時給の引き上げ、
一時金の完全回復を
実現させる

2

「今いる人も、これから 入る人も気持ちよく働ける 職場、社風にする」

仕事本来の面白さ、就業改善、
制度見直しを通じて
業務へのやりがいを
高める

3

「お客様に喜んでいただく、 お客様のファンを増やす」

人員、メニュー、販促、
システム、店舗設備等、
店舗運営に関する問題提起、
改善提案を
活発に行う

4

「横と縦のつながりを 再構築する」

顔合わせと参加のしやすさを
意識したコミュニケーション、
ブロック、支部活動、イベント
等を実施し、風通しの
良い会社を目指す

5

「雇用の確保と労働条件の維持向上」 「会社の永続的な発展、成長」を目指す

従業員、経営、株主、
上部団体との対話、
意見交換を
積極的に行う



店舗への送付物

店舗で保管して いただくもの

- 第16期活動報告書
- 第17回定期中央大会
議案書
- 報告議案書(別紙)
- デリシャス誌(本誌)



セブン&アイ・
フードシステムズ労働組合

LINE 公式アカウント

組合員
限定! 友だち募集中

友だち登録して、労働組合からの
役立つ最新情報を受け取ろう!!

友だち登録
よろしくお願ひします!

@7fs-workersunion



- LINEアプリを起動して、QRコードから友だち
登録してください。
- 登録でご不明な点がございましたら、組合本部ま
でご連絡ください。